

サステイナブルでインクルーシブな社会に向けて：  
自然の多様な価値のあり方を考える

2022年10月11日（火）

15:00～18:00

東京大学柏図書館 メディアホール / ウェビナー

～ 本シンポジウムでは、自然、特に生物多様性の多様な価値について議論することを通じて、サステイナブルでインクルーシブな社会のあり方を模索します ～

## 国際シンポジウム

サステイナブルでインクルーシブな社会に向けて：  
自然の多様な価値のあり方を考える

日時：2022年10月11日（火）15:00～18:00

会場：東京大学柏図書館 メディアホール

同時配信：ウェビナー（URLは後日ご案内します）

言語：英語／日本語（同時通訳あり）

## 基調講演：

## ウナイ・パスカル

バスク気候変動研究所、教授

生物多様性および生態系サービスに関する政府間科学－  
政策プラットフォーム（IPBES）価値評価報告書、議長

## ラケル・グールド

ヴァーモント大学、准教授



参加費：無料

参加方法：事前申込制（10月10日締切り）  
下記のURLからご登録ください。URL：<https://forms.gle/itqbgdfybfFtiE4U8>

会場参加は、東京大学構成員（学生・教員）に限らせていただきます。

先着50名を超えた場合、または新型コロナ感染拡大によりオンライン限定開催に  
なった場合には、オンライン参加のURLをご案内します。

※プログラムは変更される可能性があります。ご了承ください。

## プログラム

## オープニング

15:00-15:10 開会の挨拶 林香里 東京大学 理事

15:10-15:15 センター紹介 亀山康子 SSDC センター長

15:15-15:20 シンポジウム主旨説明

福永真弓 東京大学大学院新領域創成科学研究科 准教授

## 第一部：

生物多様性の政策現場より：多様な自然の価値の評価の可能性の模索

15:20-15:40 IPBESの「価値評価報告書」の概要について（TBD）

ウナイ・パスカル バスク気候変動研究所 教授

15:40-15:55 多様な価値の評価の手法について（TBD）

ラケル・グールド ヴァーモント大学 准教授

15:55-16:10 多様で複数の価値の社会実装の現場より：

グレナダ生態系評価を実例として

石原広恵 SSDC 准教授

16:10-16:25 （休憩）

## 第二部：多様な自然の価値を利用した地域振興のあり方

16:25-16:45 福井県池田町における取り組み

溝口淳 池田町 副町長

16:45-17:05 しまんと流域農業プロジェクトの取り組み

梅原真 梅原デザイン事務所 代表

17:05-17:10 （休憩）

## 第三部：パネルディスカッション

17:10-17:50 パネルディスカッション

ファシリテータ：福永真弓 新領域創成科学研究科 准教授

パネリスト：※第一部、第二部の講演者に加え、次の方々にご登壇いただきます。

味埜俊 東京カレッジ 副カレッジ長

神井弘之 政策研究大学院大学政策研究院 参与・シニアフェロー

橋本禪 農学生命科学研究科 准教授

吉田有紀 国立環境研究所 研究員

17:50-17:55 閉会の挨拶 出口敦 新領域創成科学研究科 研究科長

司会：張潤森 SSDC 准教授

